

内野中コミュニティ・スクール通信

令和6年6月12日 新潟市立内野中学校 No.1

○コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクール（以下CS）と呼びます。

保護者・地域・学校が一体となって子どもの成長を支える体制を築き、「これからの変化の激しい社会をたくましく生き抜く力の育成」を目指した「地域とともにある学校」づくりを進める制度です。

○学校運営協議会とは

学校運営協議会では、学校運営の基本方針を保護者・地域・学校が共有し、学校運営や子どもに必要な支援について、肯定的で未来志向の話し合いを行い、子どもの豊かな成長のためにそれぞれが主体的に取り組んでいきます。

○第1回学校運営協議会開催（5月9日）



運営会議の様子



学習参観の様子（5限）

○学校運営協議会 委員紹介

会長	雲尾 周	新潟大学教職大学院教授（元PTA会長）
副会長	玉木 浩	元中学校長、元中央区教育支援センター指導主事
	青柳 和洋	内野中学校区青少年育成協議会会長、内野中学校後援会長（元PTA会長）
	小林 清則	内野地区防火連合協議会会長、新潟西警察署少年補導員
	長谷川 真也	内野中学校 PTA会長
	家後 寛之	内野小学校 PTA会長
	本間 佐知恵	西内野小学校 PTA会長
	山岸 則子	西内野コミュニティ協議会、内野中地域教育コーディネーター
	山田 恵子	内野中地域教育コーディネーター（CS事務員兼務）
	藤巻 豊美	内野中地域教育コーディネーター（CS事務員兼務）
	佐藤 靖子	内野中学校 校長

○事務局

教 頭 野邊勝一郎（CS担当）
教 頭 森 正樹（地域連携担当）
教務主任 小出 達也

○協議会内容

① 会長・副会長の選出（一覧表参照）

② 協議

ア 今年度の教育ビジョンについて

ビジョンについて以下に示します。昨年度、第4回学校運営協議会にて「学校運営の基本方針」は承認済みです。

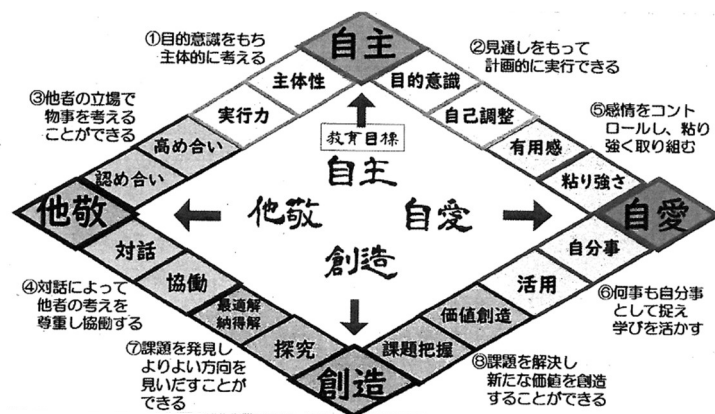
Big-Why 真の目的	○学校は誰もが幸せ・ごきげんであり、良好な状況（Well-being）になる方法を学ぶ所
Mission ミッション	○新たな世界と未来を創造できる社会人になることを目指します 世界：グローバル世界や身近な地域社会 未来：持続可能な社会 →多様な価値の中での学びを通して、子どもの可能性を伸ばします。
令和6年度 重点目標	①目的意識 ②対話 ③自分事 ④最適解・納得解

イ 地域と学校パートナーシップ事業について

総合的な学習の時間を、「プロジェクト型学習」の頭文字を取り、「内野PBL」として地域の方から協力していただきながら事業を進めていきます。

ウ 学校運営協議会の年間計画について

- 1回目—5月9日（木）
- 2回目—8月29日（木）
- 3回目—11月18日（月）
- 4回目—令和7年2月13日（木）



本校の教育目標

エ 意見交換

・授業参観について

特別支援学級の授業参観にて、2、3年生が同一教室で授業をしている場面が見られました。本校は生徒数が数年は減る見込みがなく、現状は教室数が足りておらず、やむをえず同一にしています。教育委員会とも連携して行ってほしいと思います。

・教職員の働き方改革について

教職員の働き方改革が推進されているが、生徒数と教職員数が見合っていない現状があり、改革が十分に進行できていません。しかし、時差出勤や有給休暇取得など教職員の負担が少しでも減るよう改革を進めています。

・給食の提供について

令和7年度より給食の提供が決定しました。昼食を欠食する生徒がまれにみられ、本年度より対象生徒に「ヘルプカレー」の提供が始まっています。そんな中、新潟市議会にて新潟市内全校での食缶給食の提供が決定しましたが、本校は大規模校であり給食の運搬方法、人員配置、所要時間、安全面など問題は山積みであり、今後話し合っていきます。

・あいさつ運動について

近隣のコミュニティや西区自治協議会の実施に合わせ、毎月5日にあいさつ運動を実施することを計画しています。